

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース



2015年3月8日 第166号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

定例議会終わり、さあ選挙です！



議会風景。右側質問する奥村、左が答弁する知事です。

やり残した事があり悔しいです
三度議会へ押し上げて下さい

定例議会も終わり、いよいよ選挙本番が近づいて来ました。暴走を強める安倍政権、国言いなりの県政では医療・介護はますます悪くなるばかりです。消費税増税の負担が重くのしかかる中で、社会保障の負担を軽減させ、サービスを充実させるのが地方自治体の役割です。

私は、福祉委員会の場で来年度の予算案に対して介護職員の処遇改善をさらに強めることと、子どもの医療費無料化を拡充することを求めましたが、自民党議員ばかりのなかで全く賛成されませんでした。大変、悔しいです。いのちくらしを大切にする県政実現のため、今度も、ぜひ議会に押し上げて下さい。みなさんから託された願いを議会に届けさせて下さい。

どうぞよろしくお願いします。

(おくむらのり子)

奥村のり子の一般質問の情報は党県議団のホームページをご覧ください。

雑賀県議が教育問題で質問

和歌山県議会で日本共産党の雑賀光夫県議は2月27日、教職員定数改善など求めました。

雑賀県議は、小学校2年から3年になるとき、国の基準により1クラス当たりの人数が増える問題をとりあげ、少人数学級の実現を要求しました。



安倍首相にも違法献金、恐るべし腐敗政権だ！

前号の重大なミスの、まずお詫びと訂正です。前号の後から9行目「ここ20年間、政党助成金で共産党以外の政党がぶんどった金額は6千3百万」は、正確には「6311億」円でした。

国民の税金でこんな美味しいおカネをもらいながら、疑惑まみれの安倍政権にまたまた違法献金を受け取っていた大臣が発覚。西川農水相に続き、今度は望月義夫環境相と上川陽子法相です。この2人がそれぞれ代表を務める自民党支部が、国の補助金を受けた企業から献金をもらった。税金で補助してもらい、そこから政治家の懐へ還流はワイロだから禁止は当然です。3月3日にはなんと首相本人にも疑惑浮上です。「補助金交付企業とは知らなかったから問題なし」と開き直る。要するにバレたら返金するが、バレなかったらもらい得なのです。こんな輩が日本政治の閣僚。安倍政権ではゾロゾロと辞任や交代で全閣僚の名前すら覚えられません。首相は「疑問があるとすぐにまるで罪があるかのごとききめつけるのはいかなものか」と言うから、この政権はどこまで腐りきっているのだろう。(編集室)

産廃指針の見直しを

和歌山市議会本会議一般質問で渡辺忠広市議は3日、産業廃棄物問題などで市の姿勢をただしました。

渡辺市議は、和歌山市滝畑の散歩愛処理場計画で住民が説明会を要請しても事業者が応じず、市も積極的に現状を住民に知らせていないことを示し、また、市の専門技術委員の意見に十分な回答しか出来ない事業者の実態を告発。市の産業廃棄物処理指針が市民に対し産廃処理の知識と理解に務めよと求めていること



昨年11月、滝畑ハイキング交流会。昼食には滝畑のお米、野菜、松茸のお吸い物も。(南畑さち代市議のブログから)

とについて「産廃の知識の習得に努めなければならぬのは市民ではなく事業者と行政だ」と批判し、排出事業者の社会的責任の明確化など指針の全面的見直しを要求しました。

山本彰徳市民環境局長は「実態に即した指針となるよう努める」と答弁しました。

農業振興について尾花正啓市長は、農業基盤の整備などに積極的にとりくむと答弁。友が島の戦跡「砲台跡地」の文化財指定について木村哲文副市長は「管理面なども含めて総合的に検討する」としました。

のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 3月 6日 市駅・吉宗像前宣伝、議会閉会
- 7日 地域訪問、街頭宣伝、会議
- 8日 つどい、シンポジウム、会議
- 9日 障害者競技会、原発集会、街頭宣伝、会議
- 10日 街頭宣伝、地域訪問
- 11日 生活相談
- 12日 街頭宣伝、地域訪問、ハンドマイク宣伝
- 12日 街頭宣伝、民商重税反対行動

党市議会議員
渡辺 忠広



行政と事業者こそ産廃知識の習得を！

リレートーク

Relay talk

リレートーク

リレートーク

Relay talk